

次世代ユネスコ国内委員会について

背景・経緯

- 背景**
- ユネスコは、グローバルな政策議論にユースを巻き込むため、2年に一度のユネスコ総会に合わせて「ユースフォーラム」を開催している。
 - 2021年11月のユネスコ総会において、2022～2029年ユネスコ中期戦略が承認され、「ユース」が「優先グループ」の一つに位置付けられた。
 - 近年、ユネスコのあらゆるハイレベル会合及び分野別会合において、**各国ユースの参画がますます求められている。**

経緯

令和3(2021)年10月 日本のユネスコ加盟70周年の機会に、「次世代ユネスコ国内委員会※」を組織

※以下「委員会」という。

令和4(2022)年3月 委員会から「ユネスコ活動の活性化に向けて（提言）」を発表

令和4(2022)年度 委員会による上記提言におけるアクションプランの実行

令和5(2023)年4月 日本ユネスコ国内委員会運営小委員会の下に、「次世代ユネスコ国内委員会」
を正式に設置

設置目的

- 国内ユネスコ活動に関する若者世代のネットワークを強化
- 未来を担う若者からの声を我が国のユネスコ活動に反映
- 国際会議等における日本の若者からの発信力を強化

【参考】委員構成（令和6年4月時点）

全20名

所属	年代	性別
高校生	0	10代 1 男性 10
大学生	8	20代 18 女性 10
大学院生	6	30代 1
社会人	6	

活動事項

日本ユネスコ国内委員会運営小委員長の一般的監督の下に、日本ユネスコ国内委員会事務局と連携して、以下の事項を実施。

- ユネスコ活動を通じたSDGs等の地球規模課題の解決に向けた方策の検討
- 上記検討を踏まえた、国内外におけるユネスコ活動の実践
- ユネスコの各分野における若者向け事業への参画・貢献（事務局からの依頼によるもの）
- 日本ユネスコ国内委員会における定期的な活動報告
- その他日本ユネスコ国内委員会が認める事項